事業所名　運動学習支援教室そら・ふね 上桜木　（児童発達支援）

支援プログラム

作成日　令和６ 年　7 月　26 日

法人（事業所）理念	・ご利用者様とそのご家族にとって、「必要不可欠な存在」になるために、より良い日常と未来への足掛けとなるよう良質なサービスを地域社会に提供してまいります。 ・お子様の成長を一緒に喜び合い、お一人おひとりに寄り添いながら丁寧な支援を提供しております。		
支援方針	・主に未就学児を支援の対象にしており、お子様お一人おひとりの成長に合わせ計画を作成し、療育を実施しております。 ・押しつけではなく、できたことを褒め、成長できるように導き、将来的に自立して生活することを目指しております。		
営業時間	10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
	支　援　内　容		
本人支援　健康・生活	・健康に興味関心を持ち、心身の機能を高め、自ら進んで健康に対する生活習慣や態度を身につけられるように支援してまいります。 ・衛生への意識づけを喚起し、感染の予防行動を促しつつ、自らの健康管理を実施できるように支援してまいります。 ・出来る喜びを増やし生活意欲を高め、持ち物等の自己管理や仕度、片付けなどの生活習慣を身に着け、自発的な日常生活への意欲を高めてまいります。		
本人支援　運動・感覚	・お子様の身体の発達に合わせ、遊びや運動活動を通して身体機能の発達を促し、日常生活や運動場面における動作の向上を支援をしてまいります。 ・活動や療育を通して様々な道具等の使い方を学びながら、感覚を培えるよう神経系の発達を促す療育してまいります。		
本人支援　認知・行動	・日々の活動や療育を通し、お子様を取り巻く生活環境や運動・学習場面などにおいて、認知できる範囲を増やし、生活場面に合った行動ができるよう支援してまいります。 ・集団行動を通して他者の考え方に触れ、共感性を培うとともに、自身の行動に反映することができるよう支援してまいります。		
本人支援　言語コミュニケーション	・お友達や支援者との関わり合いの中で、様々な生活場面における問題を話し合いやSSTの提供を通し、お互いの考えや、今の気持ちなどを伝え合える場を設けて、送り手（話し手、書き手）と受け手（聞き手、読み手）と役割を切り替えながら、生活場面や他者に対する理解を深められるよう支援してまいります。 ・発話が難しいお子様に対して、絵カードや筆談でのコミュニケーションや口腔体操などの療育を実施し、生活場面で自信を持ってお話しができるよう手助けしてまいります。		
本人支援　人間関係社会性	・「生きる力を育てる」=「人と人との支え、つながり」であると考え、ともに生きることで「人間関係」の構築を目指してまいります。 ・人間関係の基本は「家庭」、「地域」であると考え、家族の一員としての親や兄弟との関わりのほか、地域社会やあらゆる人との関わり合いの中で、愛情や信頼関係を゛実感し、共感性や協調性を身につけることを目指してまいります。		
家族支援	相談援助等の充実、地域の保育所等と関わりを持ち、インクルージョンの取り組みを充実させ、預かりニーズへの対応など、保護者様やご兄弟様への家族支援を推進し、家族全体のウェルビーイングの向上を図ってまいります。	移行支援	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行期は環境等の変化が伴うため、丁寧な引継ぎが必要と考え、保育所等で取り組まれてきた支援や効果的な取組み、配慮すべき点などを進学先や保護者様と共に話し合い、スムーズな移行支援を提供いたします。
地域支援・地域連携	医療、保健、福祉、教育の関係部局・機関間の連携協力を円滑にするため情報の共有化、連携の調整、一貫した支援を行うための「個別の支援計画」を作成し地域連携を図ってまいります。	職員の質の向上	職員が日々の実践や研修等を通じ、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上を図るとともに現状の課題等への共通理解や協働性を高め、主体的に学び合う姿勢と環境を整えてまいります。
主な行事等	季節行事、伝統行事、イベント、課外活動、避難・消防訓練等		

事業所名　運動学習支援教室そら・ふね 上桜木　（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日　令和６ 年　7 月　26 日

法人（事業所）理念		・お子様とそのご家族にとって「必要不可欠な存在」になるために、より良い日常と未来への足掛けとなりよう良質なサービスを提供しております。 ・お子様の成長を一緒に喜び合い、お一人おひとりに寄り添いながら丁寧な支援を提供しております。		
支援方針		・主に小学生を支援の対象としており、お一人おひとりの成長に合わせた計画を作成し、療育を実施しております。 ・押しつけではなく、できたことを褒め、成長できるように導き、将来的に自立して生活することを目指しております。		
営業時間		10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・健康に興味関心を持ち、心身の機能を高め、自ら進んで健康に対する生活習慣や態度を身につけられるように支援してまいります。 ・衛生への意識づけを喚起し、感染の予防行動を促しつつ、自らの健康管理を実施できるように支援してまいります。 ・出来る喜びを増やし生活意欲を高め、持ち物等の自己管理や仕度、片付けなどの生活習慣を身に着け、自発的な日常生活への意欲を高めてまいります。		
	運動・感覚	・お子様の身体の発達に合わせ、遊びや運動活動を通して身体機能の発達を促し、日常生活や運動場面における動作の向上を支援をしてまいります。 ・活動や療育を通して様々な道具等の使い方を学びながら、感覚を培えるよう神経系の発達を促す療育してまいります。		
	認知・行動	・日々の活動や療育を通し、お子様を取り巻く生活環境や運動・学習場面などにおいて、認知できる範囲を増やし、生活場面に合った行動ができるよう支援してまいります。 ・集団行動を通して他者の考え方に触れ、共感性を培うとともに、自身の行動に反映することができるよう支援してまいります。		
	言語 コミュニケーション	・お友達や支援者との関わり合いの中で、様々な生活場面における問題を話し合いやSSTの提供を通し、お互いの考えや、今の気持ちなどを伝え合える場を設けて、送り手（話し手、書き手）と受け手（聞き手、読み手）と役割を切り替えながら、生活場面や他者に対する理解を深められるよう支援してまいります。 ・発話が難しいお子様に対して、絵カードや筆談でのコミュニケーションや口腔体操などの療育を実施し、生活場面で自信を持ってお話しができるよう手助けしてまいります。		
	人間関係 社会性	・「生きる力を育てる」=「人と人との支え、つながり」であると考え、ともに生きることで「人間関係」の構築を目指してまいります。 ・人間関係の基本は「家庭」、「地域」であると考え、家族の一員としての親や兄弟との関わりのほか、地域社会やあらゆる人との関わり合いの中で、愛情や信頼関係を゛実感し、共感性や協調性を身につけることを目指してまいります。		
家族支援		相談援助等の充実、地域の保育所等と関わりを持ち、インクルージョンの取り組みを充実させ、預かりニーズへの対応など、保護者様やご兄弟様への家族支援を推進し、家族全体のウェルビーイングの向上を図ってまいります。	移行支援	放課後等デイサービスからの移行期は環境等の変化が伴うため、丁寧な引継ぎが必要と考え、小学校等で取り組まれてきた支援や効果的な取組み、配慮すべき点などを進学先や保護者様と共に話し合い、スムーズな移行支援を提供いたします。
地域支援・地域連携		医療、保健、福祉、教育の関係部局・機関間の連携協力を円滑にするため情報の共有化、連携の調整、一貫した支援を行うための「個別の支援計画」を作成し地域連携を図ってまいります。	職員の質の向上	職員が日々の実践や研修等を通じ、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上を図るとともに現状の課題等への共通理解や協働性を高め、主体的に学び合う姿勢と環境を整えてまいります。
主な行事等		季節行事、伝統行事、イベント、課外活動、避難・消防訓練等		